

【広島県豊田郡大崎上島町】

校務 DX 計画

1. 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」(文部科学省令和 6 年 9 月実施)の自治体別達成状況では、学校設置者向けの点数が 225 点(広島県平均 293.6 点)、学校向けの点数が 333.0 点(広島県平均 351.8 点)と広島県平均を下回っている結果となっています。

学校設置者向けの主な原因としては、校務支援システムの未導入や学校との連絡がメールや紙媒体でのやり取りが多く、学校及び教育委員会間のデジタル化が進んでいないことが主な要因として考えられます。

学校向けの主な要因としては、学校徴収金の現金徴収が大半であること、FAX や押印・署名が日常の業務に残っていることが要因として考えられます。

2. 大崎上島町における校務 DX の取組について

(1) 校務の連絡のデジタル化

・クラウドツールや校務支援システムを活用することで、学校の職員間や保護者・生徒への連絡、通知のデジタル化を促進し、ペーパーレス化による業務改善を図ります。

(2) FAX 及び押印の見直し

・業務における FAX の使用や、押印・署名が必要な書類が有る状況は、学校単体で改善することが難しいです。学校と保護者、教育委員会や外部業者等との文書のやりとりをクラウド化・ペーパーレス化できるよう、署名・押印が必要な文書の見直しや、学校と紙ベースでのやりとりをしている事業所へ慣行の見直しを依頼するなどして改善を図ります。